

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 5日

事業所名 放課後クラブ ビサイド

	チェック項目	はい どちらか いない				課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善計画
		はい	どちらか	いいえ	工夫している点	
環境・体制整備	1 利用定員が指導員室等スペースとの関係で適切である	5				
	2 職員の配置数は適切である	5				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5				一部、改善が必要であるが、手すりを補強した。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	5				
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				業務改善に役立っている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				ホームページの活用している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5				第三者委員会の立ち上げ、ご助言を頂いている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5				都城療育研修会に月1回参加している。小さい子供がいる職員が参加できていない。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				
適切な支援の提供	10 子どもの通行動向の状態把握のために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5				毎日、職員会議で立案して職員間で話し合い決定している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				ソーシャルスキルトレーニング・運動・音楽・絵画・レニング・ものづくりを必要に応じて行っている。子ども自身が選択出来るようにしている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して実施している	3		2		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5				職員会議、給食会議で情報の共有化を図っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5				支援終了後の職員会議は送迎の為、出来ないで、翌日の朝礼で振り返りを行なっている。
	17 日々の支援に際して正しく記憶をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				申し合わせ事項を記入している。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				毎日の申し合わせ事項等で、話し合っている
	19 ガイドラインの趣旨の基本活動を徹底組み合わせて支援を行っている	5				
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	5				児発警が常に参加。
関係機関や保護者との連携	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5				ライン等で、保護者との連絡を行なっている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5				医療的ケアの児童に対しては、看護師が対応できるようにしている。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5				相談員からの情報共有している。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5				今年、高校卒業し、福祉サービスを利用する。しっかりと情報を提供する。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1			月に1回研修に参加している。助言を受けている。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5				コロナが5期になり、保育園との交流をおこなった。機会を増やしたい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5				市内の協議会に参加している。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				送迎時、保護者との連携をとっている。必ず、施設での様子を伝えている。
	29 保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	5				保護者が子育てに対して悩み、不安、ストレスを改善する為、関係機関との連携をとり、ペアレントトレーニングを実施する。
保護者への説明責任等	30 運営協議、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				その都度、相談員・児童相談所との対応させて頂いている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			5		コロナ禍において、開催が出来てない。今年度開催を予定している。インフルエンザの状況もみて時期を判断。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				苦情担当が迅速に対応する体制が出来ていない。
	34 定期的に会報等を実施し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5				会報は発行していないが、常にラインでの情報は発信している。
	35 個人情報に十分注意している	5				シュレッダーを利用して、気を付けている。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				常に情報が漏れないように徹底している。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を行っている	2	3			情報発信している。
非常時の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5				策定して周知徹底している。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				6ヶ月ごとに行っている。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				社内研修で定期的に行っている。
その他	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5				個別計画にも記入して、保護者に説明している状態です。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5				アセスメントに記載されている事項を確認し、職員内で周知徹底する。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				一人、週1〜2枚以上を目録にしている。